

一般質問

松山議員

えちぜん鉄道について

Q 質問

①新しいスキームにおけるえちぜん鉄道の利用促進についてどのように取り組んでいくのか。

②「恐竜エクスプレス号」の導入に伴う連携をどのように進めるのか。
③テキ6号のサビ対策等の保存修繕について。

A 答弁

①既存の制度・事業を積極的に広報し、乗る運動、そして利用促進につなげていく。また平成27年度の市内バス路線の見直しにおいては、駅からのアクセスにも十分配慮する。

②えちぜん鉄道と商工会議所や観光協会、市の関係部課で勝山駅の活用方法や勝山駅を起点としてどのような施策を実施するのか協議を始めている。

③今後、適正に管理していくためにも、新年度においてテキ6号及びト68の修繕をしていきたいと考えている。

観光戦略について

Q 質問

①「夏フェス」「観光特任大使」などの、戦略的観光イベントの実施など、観光ビジョンをどのように進めていくのか。

その他の質問
パブリックコメントについて

②勝山フィルムコミッションと映像戦略をどのように進めていくのか。
③左義長まつりの応援体制構築モデル事業の内容とは。

A 答弁

①来年度は大使の方々とのスケジュール調整をする中で、ダイノソニック等での活用を検討し、大使の方々のブログ等と連携し勝山市のPRを進めていく。

②撮影実績とロケ地情報、勝山市の景色や環境の素晴らしさを情報発信すると共に、「映像制作を誘致した際に、「おもてなし」の心で対応できる、フィルムコミッションの体制づくりに努めていく。

③櫓をもつ各地区においては、少子高齢化や世帯数の減少などにより、祭りの準備や櫓の運営に支障をきたしたつある

との声がある。今後の対応策を検討する事業費を12月補正に計上した。



テキ6号

北川議員

雪対策について

Q 質問

過疎化や高齢化が進行し、地域の克雪力が低下している。当市において、雪がもたらす様々な困難を軽減するための、雪対策は最も重要な取り組みである。市民の皆様が冬の暮らしを安全に過ごせるための取り組みを伺う。

①屋根雪下し作業員の確保について
②不在家屋の対応について
③現在、取り組まれている雪氷熱工ネルギー活用の今後の方向性について。

A 答弁

①12月に除雪作業員の登録を広報・ホームページ等で呼びかけ、それを市民に紹介するなどの方法で屋根雪下しへの対応を行っている。

②建物の管理は所有者等が適正に行わなければならないが、緊急の危険性が生じる場合を除き、市で除却等の措置を講ずることはできない。そのため、権利関係を調査し、所有者等を特定することにより不在家屋の対応ができるよう努めている。

③雪氷熱エネルギーについては、様々な事業が創設され全国で導入促進が図られており、当市も有利な事業を活用し取り組んでいく。

医療費の適正化について

Q 質問

当市が取り組んでいる「保健事業」は、市民の健康や健康意識の向上と合わせて、国民健康保険・後期高齢者医療の医療費の適正化も期待されている。医療費が年々増え続ける中、健全な財政運営が求められ、「保健事業」の重要性がますます高まっているが、当市の「保健事業」の現状と課題について伺う。

A 答弁

健康の保持増進、生活習慣病予防のため、国保加入者を対象とした特定健康診査・保健指導、人間ドック、健診結果相談会等を実施している。また今年度から、糖尿病の重症化予防の取り組みとして、対象者への訪問指導も行っている。

健診受診や医療のわかり方などの啓発及び健康に関する教室等を行い、市民の健康の保持増進を図ることなどで医療費適正化に取り組んでいく。



屋根雪下し